土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

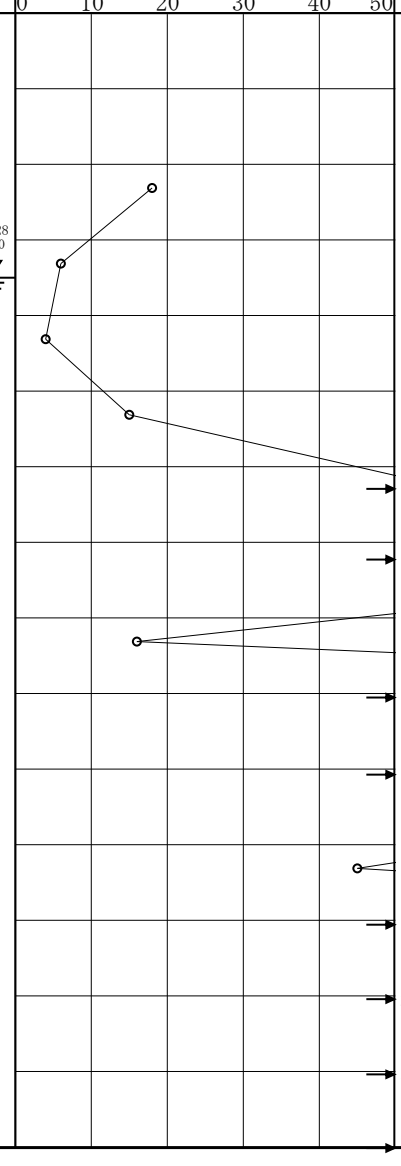
調　査　名　二級河川　三津大川水系　三津大川　災害復旧事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名　二級河川　三津大川水系　三津大川

調査目的及び調査対象　道路 橋梁・高架

ボーリング名	No.4	**調査位置**	広島県東広島市安芸津町三津			**北緯**	34° 19′ 11.3120″
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所			**調査期間**	2021年 8月 26日 ～ 2021年 9月 1日	**東経**	132° 48′ 59.9888″
調査業者名	株式会社セトウチ **電話** 0846-29-1720	**主任技師**	藤原　泰介 地質調査技士 登録番号: 第14525号	**現場代理人**	新長　修二 地質調査技士 登録番号:	**コア鑑定者**	藤原　泰介 地質調査技士 登録番号: 第14525号
ボーリング責任者	山本　将人 地質調査技士 登録番号:						
孔口標高	T.P. 5.19m	**角度**	180°　上 90° 下 0°　0°	**方位**	北 0°　270° 西　90° 東　180° 南	**地盤勾配**	水平0°　鉛直 90°
使用機種	**試錐機**	YBM-1WA					
総削孔長	15.00m	**エンジン**	ヤンマーTR120M	**ポンプ**	YBM GP-5		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1 2 3 4	0.59	4.60		埋土		暗灰～黄褐灰	緩い～中ぐい		完新世	As舗装厚0.07m。 深度0.5m付近まで砕石で、以深は礫混り砂。 深度1.6m付近よりφ20～70cmの玉石混り砂。 ボーリング地点は深度1.85mまで空洞(VP管保孔)。 深度4.55mに木片が混入する。	08/28 3.50
5	-0.71	5.90		玉石混り砂礫		暗灰～灰褐～暗茶	rd3			10mm～コア長120mmまでの玉石多く混入する。礫はφ50mmまでの亜円礫主体。砂は細粗主体。深度5.4～5.6mの間は火山灰や有機物を挟む。	
6 7	-2.81	8.00		玉石混り砂礫		暗灰～灰褐～暗茶	rd4		更新世	10mm～コア長120mmまでの玉石多く混入する。 礫間は細粗主体で細礫が混じる。	
8	-3.56	8.75		礫混り砂		暗灰～黄褐灰	rd3			深度8.0～8.45mは細礫と粗砂主体となる。深度8.45～8.6mは細砂主体で、礫の混入無し。	
9 10	-5.96	11.15		玉石混り砂礫		褐～青灰	rd5			玉石間は粗砂主体。 深度9.1m～9.5m間は、L=400mm程度の棒状コアで採取される。 玉石は硬質な流紋岩主体。	
11 12 13 14	-9.81	15.00		砂岩・礫岩		暗青灰～暗青			漸新世	岩片～L=400mm程度の棒状コアで採取される。 棒状コアのものは、おおむねコア肌は荒く、ハンマーの軽打では濁音を発する。	



標準貫入試験 深度 (m)	N値	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
2.15	18	4	7	7	18/300								8/26
2.45 3.15	6	2	2	2	6/300								
3.45 4.15	4	1	2	1	4/300								8/27
4.45 5.15	15	4	6	5	15/300								
5.45 6.15	58	17	20	13/60	50/260	260							8/28
6.41 7.15	115	40	10/30		50/130	130							
7.28 8.15	16	6	6	4	16/300								8/30
8.45 9.00	188	50/80			50/80	80							
9.08 10.00	125	36	14/20		50/120	120							
10.12 11.15	45	16	15	14	45/300								
11.45 12.00	167	50/90			50/90	90							8/31
12.09 13.00	250	50/60			50/60	60							
13.06 14.00	300	50/50			50/50	50							
14.05 15.00 15.00		貫入不能			50/0								9/1